



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社

コード番号 4536 URL <https://www.santen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 谷内 樹生

問合せ先責任者 (役職名) IR室 室長 (氏名) 板垣 香里 TEL 06-7664-8621

四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 2021年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

IFRS (フル) ベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	128,759	8.3	18,805	0.6	18,393	0.2	14,254	4.1	14,307	3.6	14,858	△19.7
2021年3月期第2四半期	118,905	0.1	18,686	△1.7	18,353	△0.3	13,698	4.3	13,813	5.1	18,498	139.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	35.79	35.73
2021年3月期第2四半期	34.58	34.50

#### コアベース

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	128,759	8.3	24,306	△5.4	18,556	△5.7	18,586	△5.7	46.50	46.41
2021年3月期第2四半期	118,905	0.1	25,690	0.2	19,687	4.7	19,703	4.7	49.33	49.21

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	420,435	319,029	319,029	319,632	319,632	76.0	799.56
2021年3月期	405,285	309,646	309,646	310,181	310,181	76.5	776.16

(注) 2020年9月に行った企業結合に係る暫定的な会計処理が2022年3月期第2四半期に確定したことに伴い、2021年3月期第2四半期の連結経営成績 (累計) 及び2021年3月期の連結財政状態を遡及修正しています。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2022年3月期	—	16.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

IFRS (フル) ベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	4.2	41,500	240.5	41,000	250.8	30,500	234.2	77.07

#### コアベース

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	4.2	52,000	3.8	39,000	3.9	98.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

IFRS (フル) ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」(P6参照)をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	400,400,954株	2021年3月期	400,368,954株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	423,603株	2021年3月期	549,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	399,679,863株	2021年3月期2Q	399,394,844株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2021年3月期末 18,230株、2022年3月期2Q 16,271株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年11月9日（火）に証券アナリスト、機関投資家向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	9
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書 .....	9
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(企業結合) .....	15
(重要な後発事象) .....	17
3. 連結参考資料 .....	18
(1) 主要製品売上収益 .....	18
(2) 開発状況 .....	19
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費 .....	21
(4) 主要通貨為替レート .....	21

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第2四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) IFRS（フル）ベース

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	対前年同期増減率
売上収益	118,905	128,759	8.3%
営業利益	18,686	18,805	0.6%
四半期利益	13,698	14,254	4.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	13,813	14,307	3.6%

[売上収益]

前年同期と比べ8.3%増加し、1,288億円となりました。

主力の医療用医薬品事業は、日本は薬価改定の影響がありましたが主力製品が堅調に推移したこと、中国は集中購買における影響を最小限に抑え、EMEAは主力製品が堅調に推移し、前年同期と比べ8.0%増加し、1,204億円となりました。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段：金額

下段：対前年同期増減率、( )は為替影響を除いた対前年同期増減率

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	75,675	13,998	8,728	20,501	1,469	120,370
	6.4%	10.0%	△2.9%	13.6%	155.6%	8.0%
	(-%)	(△1.9%)	(△9.5%)	(5.3%)	(147.9%)	(4.7%)
一般用医薬品	4,791	—	296	—	—	5,087
	△0.7%	—	67.1%	—	—	1.7%
	—	—	—	—	—	—
医療機器	1,542	—	—	742	198	2,481
	15.4%	△100.0%	—	95.2%	—	44.5%
	—	—	—	—	—	—
その他	770	17	33	—	—	820
	21.2%	△38.4%	△5.5%	—	—	17.5%
	—	—	—	—	—	—
合計	82,777	14,015	9,057	21,242	1,667	128,759
	6.2%	9.9%	△1.5%	15.3%	190.1%	8.3%
	—	—	—	—	—	—

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国又は地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

EMEAは、欧州、中東及びアフリカです。

<医療用医薬品>

◇日本

前年同期と比べ6.4%増加し、757億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	44億円	（対前年同期増減率	△ 4.5%）
「タプコム配合点眼液」	14億円	（対前年同期増減率	+ 5.7%）
「エイベリス点眼液」	16億円	（対前年同期増減率	+ 34.8%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	67億円	（対前年同期増減率	+ 9.4%）
・抗アレルギー点眼剤領域			
「アレジオン点眼液 <sup>※1</sup> （P5参照）」	95億円	（対前年同期増減率	+ 23.5%）
・網膜疾患治療剤領域			
「アイリーア硝子体内注射液 <sup>※2</sup> （P5参照）」	365億円	（対前年同期増減率	+ 9.6%）

◇中国

円換算ベースで前年同期と比べ10.0%増加し（為替影響を除いた成長率は△1.9%）、140億円となりました。なお、中国において新製品であるジクアス点眼液及びタプロス点眼液の販売促進強化を行うとともに、主力製品であるクラビット点眼液及びヒアレイン点眼液は、集中購買による影響を受けつつも、引き続き私立病院や薬局など他のチャンネルでの拡販に注力し、減少を抑制しています。なお、主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	5億円	（対前年同期増減率	+101.9%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	17億円	（対前年同期増減率	+591.4%）
「ヒアレイン点眼液」	42億円	（対前年同期増減率	△ 11.6%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	44億円	（対前年同期増減率	△ 10.7%）

◇アジア（中国除く）

円換算ベースで一過性出荷があった前年同期と比べ2.9%減少し（為替影響を除いた成長率は△9.5%）、87億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	10億円	（対前年同期増減率	+ 3.0%）
「タプコム配合点眼液」	4億円	（対前年同期増減率	+ 63.2%）
「コソプト配合点眼液」	25億円	（対前年同期増減率	+ 17.3%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	9億円	（対前年同期増減率	+ 8.9%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	9億円	（対前年同期増減率	△ 20.4%）

◇EMEA

円換算ベースで前年同期と比べ13.6%増加し（為替影響を除いた成長率は+5.3%）、205億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	33億円	（対前年同期増減率	+ 0.4%）
「タプコム配合点眼液」	17億円	（対前年同期増減率	+ 18.7%）
「コソプト配合点眼液」	53億円	（対前年同期増減率	+ 9.7%）
「トルソプト点眼液」	15億円	（対前年同期増減率	+ 6.8%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「Ikervis（アイケルビス）」	25億円	（対前年同期増減率	+ 49.1%）

◇米州

円換算ベースで15億円となりました。なお、米州の売上収益に含まれる、前年第2四半期連結会計期間に買収したEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の売上収益は10億円です。

<一般用医薬品>

前年同期と比べ1.7%増加し、51億円となりました。

「サンテメディカルシリーズ」「サンテボーティエシリーズ」「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に加え、スイッチOTC製品「ヒアレインS」、発売から本年30周年を迎えた「サンテFXシリーズ」に注力しています。

<医療機器>

前年同期と比べ44.5%増加し、25億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

「レンティス コンフォート」	7億円	（対前年同期増減率	+ 43.9%）
「PRESERFLO MicroShunt （プリザーフロ マイクロシャント）」	7億円	（対前年同期増減率	+104.5%）

<その他>

その他の売上収益は8億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ9.7%増加し、759億円となりました。

IFRS（フル）ベースの販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ19.3%増加し、397億円となりました。後述のコアベースの販売費及び一般管理費392億円に加え、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の統合業務等の一過性の費用等が4億円発生しました。

研究開発費は、前年同期と比べ10.9%増加し、123億円となりました。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ1.9%減少し、48億円となりました。これは主に、Merck & Co., Inc.（米国）から2014年に譲り受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」に関する無形資産、2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得したSTN2000100（DE-128、PRESERFLO MicroShunt（プリザーフロ マイクロシャント））に関する無形資産（2019年4月より償却開始）、並びに2020年のEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）買収に伴い取得した眼科製品に関する無形資産の償却によるものです。

前年第2四半期連結会計期間に買収したEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）に関し、当第2四半期連結会計期間において取得対価の配分が完了したことに伴い、当初の暫定的な金額を遡及修正しました。詳細は2.（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合）に記載のとおりです。なお、前年第2四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響は軽微です。また、当第2四半期連結累計期間の製品に係る無形資産償却費は9億円です。

その他の収益は、2億円となりました。

その他の費用は、5億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ0.6%増加し、188億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、7億円となりました。

金融費用は、4億円となりました。

持分法による投資損失は、6億円となりました。これはVerily Life Sciences LLC（米国）との合弁会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLC（米国）の損益のうち、当社の持分に帰属する金額を計上したものです。

法人所得税費用は、41億円となりました。税効果が認識されないInnFocus, Inc.（米国）買収に伴う条件付対価の公正価値変動額が前年同期と比べ減少したこと等により、税負担率は前年同期より低下し22.5%となりました。

これらにより、四半期利益は、前年同期と比べ4.1%増加し、143億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ3.6%増加し、143億円となりました。売上収益に対するその比率は、11.1%となりました。

※1 アレジオンLX点眼液を含みます。

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

（イ）コアベース ※3

（単位：百万円）

	前第2四半期	当第2四半期	対前年同期増減率
売上収益	118,905	128,759	8.3%
コア営業利益	25,690	24,306	△5.4%
コア四半期利益	19,687	18,556	△5.7%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	19,703	18,586	△5.7%

[売上収益]

IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

[コア営業利益]

売上総利益について、IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ21.2%増加し、392億円となりました。なお、IFRS（フル）ベースからの調整内容については、前述の[営業利益]に記載のとおりです。

研究開発費は、IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ5.4%減少し、243億円となりました。

※3 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益及び費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益及び費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・ 製品に係る無形資産償却費
- ・ その他の収益
- ・ その他の費用
- ・ 金融収益
- ・ 金融費用
- ・ 持分法による投資損益
- ・ 販売費及び一般管理費のうち企業買収などに係る一過性費用

② 研究開発活動

＜緑内障・高眼圧症領域＞

プロスタグランジン $F_2\alpha$ 誘導体及び $\beta$ 遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2019年1月に第Ⅲ相試験を開始しました。

EP2受容体作動薬STN1011700（DE-117、一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で2020年11月に販売承認を申請しました。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは、順次販売承認を申請しており、韓国で2021年2月に発売しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600（DE-126、一般名：sepetaprost）は、米国で2020年12月に追加の第Ⅱ相試験を開始しました。日本では、後期第Ⅱ相試験を完了しています。欧州で2021年9月に第Ⅱ相試験（探索的試験）を開始しました。

緑内障用デバイスSTN2000100（DE-128）\*は、日本で2021年5月に販売承認を申請しました。欧州で2019年4月に発売しました。アジアでは、2020年3月以降順次販売承認を申請しており、2021年9月にシンガポールで承認を取得しました。韓国で2021年4月に非承認通知を受理し、再申請を検討中です。

プロスタグランジン $F_2\alpha$ 誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、欧州及びアジアで2019年4月に第Ⅲ相試験を開始しました。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：netarsudil dimesylate）は、日本で2020年11月に第Ⅲ相試験を開始しました。

\*2021年5月に、米州、オーストラリア及びニュージーランドでの製品開発、商業化及び販売の権利をGlaukos Corporation（米国、以下、Glaukos社）へ供与しました。米国では2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了し、2021年2月末に米国食品医薬品局（FDA）から審査に関するフィードバックを受け、以降協議を実施しています。カナダで2021年3月に、オーストラリアで2021年5月に販売承認を取得しており、Glaukos社にて上市準備中です。

＜角結膜疾患（ドライアイを含む）領域＞

春季カタルを対象とするSTN1007603（DE-076C、一般名：シクロスポリン）は、欧州、アジア、カナダなど既に承認・販売されている諸国に続き、中国では2021年4月に新薬承認申請が受理されました。米国では2020年10月に新薬承認申請が受理され、2021年6月に承認を取得しました。

ドライアイを対象とするSTN1008903（DE-089C、一般名：ジクアホソルナトリウム）は、日本で2021年8月に製造販売承認を申請しました。

マイボーム腺機能不全を対象とするSTN1010905（一般名：シロリムス）は、日本で2021年10月に前期第Ⅱ相試験を開始しました。

＜網膜・ぶどう膜疾患領域＞

ぶどう膜炎を対象とするSTN1010900（DE-109、一般名：シロリムス）は、米国で2018年12月に追加の第Ⅲ相試験を開始しました。

＜新規疾患領域＞

近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、日本で2019年8月に第Ⅱ／Ⅲ相試験を開始しました。中国で2021年9月に第Ⅰ相試験を開始しました。アジアでは2020年4月に第Ⅱ相試験を終了しました。

近視を対象とするSTN1013400（化合物名：AFDX0250BS）は、日本で2021年7月に第Ⅰ相試験を開始しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード（STNXXXXXX）及び既存開発コード（DE-XXX）を併記しています。なお、AR-13324はAerie Pharmaceuticals, Inc.での開発コードです。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第2四半期末の資産は、4,204億円となりました。営業債権及びその他の債権の減少などがあった一方、滋賀プロダクトサプライセンター敷地内における医療用点眼薬製造のための第3棟の増設に伴う有形固定資産の増加、並びに同設備投資に関して総額100億円の長期借入れを実行したことによる現金及び現金同等物の増加などにより前期末と比べ152億円増加しました。

資本は、3,190億円となりました。利益剰余金の増加などにより前期末と比べ94億円増加しました。

負債は、1,014億円となりました。その他の流動負債の減少及び法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少などがあった一方、長期借入れによる金融負債の増加などにより前期末と比べ58億円増加しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ0.5ポイント減少し、76.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、271億円の収入（前年同期は、184億円の収入）となりました。主に四半期利益が143億円（前年同期は、137億円）、営業債権及びその他の債権の減少99億円、法人所得税の支払額50億円、減価償却費及び償却費83億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、171億円の支出（前年同期は、447億円の支出）となりました。主に有形固定資産の取得による支出98億円及び無形資産の取得による支出47億円によるものです。また政策保有株式の見直しを加速化しており、当第2四半期は1銘柄の投資の売却による収入が7億円ありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、30億円の収入（前年同期は、68億円の支出）となりました。主に長期借入れによる収入100億円及び配当金の支払56億円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末と比べ131億円増加し、760億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2021年5月11日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	118,905	128,759
売上原価	△49,705	△52,867
売上総利益	69,199	75,891
販売費及び一般管理費	△33,242	△39,652
研究開発費	△11,123	△12,338
製品に係る無形資産償却費	△4,878	△4,787
その他の収益	350	203
その他の費用	△1,620	△512
営業利益	18,686	18,805
金融収益	566	672
金融費用	△883	△440
持分法による投資損失	△17	△643
税引前四半期利益	18,353	18,393
法人所得税費用	△4,655	△4,139
四半期利益	13,698	14,254
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
確定給付制度の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産の純変動	4,170	△134
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	689	653
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する 持分	△59	85
その他の包括利益	4,799	604
四半期包括利益合計	18,498	14,858
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	13,813	14,307
非支配持分	△115	△53
四半期利益	13,698	14,254
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	18,620	14,927
非支配持分	△122	△69
四半期包括利益合計	18,498	14,858
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	34.58	35.79
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	34.50	35.73
<コアベース>		
売上収益	118,905	128,759
コア営業利益	25,690	24,306
コア四半期利益	19,687	18,556
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	49.33	46.50
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	49.21	46.41
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	19,703	18,586
非支配持分	△16	△30
コア四半期利益	19,687	18,556

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	39,489	49,082
無形資産	115,808	115,482
金融資産	31,903	31,683
退職給付に係る資産	1,619	1,209
持分法で会計処理されている投資	5,162	7,362
繰延税金資産	2,824	2,753
その他の非流動資産	2,249	1,682
非流動資産合計	199,054	209,253
流動資産		
棚卸資産	41,575	40,311
営業債権及びその他の債権	95,992	86,250
その他の金融資産	527	367
その他の流動資産	5,248	8,218
現金及び現金同等物	62,888	76,036
流動資産合計	206,231	211,182
資産合計	405,285	420,435

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,525	8,538
資本剰余金	8,954	8,860
自己株式	△934	△718
利益剰余金	273,238	282,296
その他の資本の構成要素	20,398	20,656
親会社の所有者に帰属する持分合計	310,181	319,632
非支配持分	△535	△603
資本合計	309,646	319,029
<b>負債</b>		
非流動負債		
金融負債	10,141	19,915
退職給付に係る負債	1,210	1,180
引当金	600	618
繰延税金負債	3,626	3,518
その他の非流動負債	1,514	920
非流動負債合計	17,090	26,152
流動負債		
営業債務及びその他の債務	38,106	37,810
その他の金融負債	23,739	23,357
未払法人所得税等	5,458	4,588
引当金	819	793
その他の流動負債	10,428	8,706
流動負債合計	78,549	75,254
負債合計	95,639	101,407
資本及び負債合計	405,285	420,435

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2020年4月1日残高	8,366	8,746	△1,033	273,422	—	11,150
四半期包括利益						
四半期利益				13,813		
その他の包括利益						4,170
四半期包括利益合計	—	—	—	13,813	—	4,170
所有者との取引額						
新株の発行	45	45				
自己株式の処分		△65	102			
配当金				△5,592		
株式報酬取引		38				
所有者との取引額合計	45	18	102	△5,592	—	—
2020年9月30日残高	8,411	8,763	△931	281,643	—	15,319

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2020年4月1日残高	1,529	—	686	13,364	302,865	△305	302,560
四半期包括利益							
四半期利益				—	13,813	△115	13,698
その他の包括利益	696	△59		4,807	4,807	△8	4,799
四半期包括利益合計	696	△59	—	4,807	18,620	△122	18,498
所有者との取引額							
新株の発行			△10	△10	80		80
自己株式の処分				—	36		36
配当金				—	△5,592		△5,592
株式報酬取引				—	38		38
所有者との取引額合計	—	—	△10	△10	△5,438	—	△5,438
2020年9月30日残高	2,225	△59	676	18,161	316,047	△427	315,620

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2021年4月1日残高	8,525	8,954	△934	273,238	—	11,075
四半期包括利益						
四半期利益				14,307		
その他の包括利益						△134
四半期包括利益合計	—	—	—	14,307	—	△134
所有者との取引額						
新株の発行	12	12				
自己株式の取得			△12			
自己株式の処分		15	228			
配当金				△5,598		
株式報酬取引		△121				
その他				349		△349
所有者との取引額合計	12	△93	216	△5,249	—	△349
2021年9月30日残高	8,538	8,860	△718	282,296	—	10,593

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2021年4月1日残高	8,634	170	518	20,398	310,181	△535	309,646
四半期包括利益							
四半期利益				—	14,307	△53	14,254
その他の包括利益	669	85		620	620	△16	604
四半期包括利益合計	669	85	—	620	14,927	△69	14,858
所有者との取引額							
新株の発行			△13	△13	12		12
自己株式の取得				—	△12		△12
自己株式の処分				—	243		243
配当金				—	△5,598		△5,598
株式報酬取引				—	△121		△121
その他				△349	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△13	△362	△5,476	—	△5,476
2021年9月30日残高	9,303	255	505	20,656	319,632	△603	319,029

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	13,698	14,254
減価償却費及び償却費	8,184	8,302
減損損失	198	48
持分法による投資損益（△は益）	17	643
金融収益及び金融費用（△は益）	△285	△343
法人所得税費用	4,655	4,139
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	6,380	9,885
棚卸資産の増減（△は増加）	△4,126	1,468
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△404	△338
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	462	378
その他の流動資産の増減（△は増加）	△1,751	△2,705
未払賞与の増減（△は減少）	△811	△1,516
その他	△1,022	△2,439
小計	25,193	31,777
利息の受取額	76	136
配当金の受取額	246	250
利息の支払額	△82	△102
法人所得税の支払額	△7,005	△4,966
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,428	27,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△2,452	△536
投資の売却による収入	—	746
子会社株式の取得による支出	△23,834	—
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△5,349	△2,759
有形固定資産の取得による支出	△1,920	△9,792
無形資産の取得による支出	△11,106	△4,711
その他	△73	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,734	△17,057
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	148	10,000
配当金の支払額	△5,592	△5,596
リース負債の返済による支出	△1,407	△1,432
その他	80	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,771	2,972
現金及び現金同等物の増減額	△33,077	13,011
現金及び現金同等物の期首残高	91,430	62,888
現金及び現金同等物の為替変動による影響	391	136
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,745	76,036

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（企業結合）

前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. 及びEyevance Pharmaceuticals LLCの取得）

① 企業結合の概要

（a）被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称： Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.  
Eyevance Pharmaceuticals LLC

事業の内容： 最適な視力とより高いQOL（生活の質）実現に向けた、革新的でインパクトのある点眼用眼科製品の開発・販売

（b）企業結合を行った理由

Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）及びEyevance Pharmaceuticals LLC（米国）は、眼表面及び前眼部の領域において、点眼薬の開発・販売を行っており、現在は、抗炎症、抗アレルギー、抗真菌、涙液の潤滑のための点眼薬、及び抗菌と抗炎症の配合点眼薬を提供しています。また、米国全土の眼科医、検眼医、アレルギーを専門とする医師を対象とした同社のナショナルセールsteamが、その販売活動を担っています。

Santenグループは、本買収を通じて、米国での事業基盤を早期に確立し、より多くの患者さんのニーズに真摯に向き合い、さらなる価値を提供します。同時に、米国へのアクセス、そしてプレゼンスを獲得することで、グローバルにおける事業展開を加速させ、眼科医療への一層の貢献とさらなる成長を目指します。

（c）取得日

2020年9月16日（米国時間）

（d）被取得企業の支配の獲得方法

現金を対価としてEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の発行済株式の100%を取得し、同社及びその傘下の事業会社であるEyevance Pharmaceuticals LLC（米国）の2社を完全子会社化しています。

（e）取得した議決権付資本持分割合

100%

② 取得資産及び引き受けた負債の認識金額並びに取得対価の取得日公正価値

当該企業結合に関し、前連結会計年度において取得対価の配分が完了しなかったため、暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に取得対価の配分が完了しました。

取得日における取得資産及び引き受けた負債の認識金額並びに取得対価の取得日公正価値は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	金額
非流動資産	21,428
流動資産	838
現金及び現金同等物	1,099
非流動負債	△3,725
流動負債	△564
のれん(注)	5,857
合計	24,933
現金	24,933
取得対価合計	24,933

(注) のれんは、主に期待される将来の超過収益力の合理的な見積りにより発生したものです。なお、当該のれんは税法上、損金には計上できません。

当第2四半期連結会計期間において、取得対価の配分が完了したことに伴い、当初の暫定的な金額を遡及修正しました。これに伴い取得日において、主として無形資産が17,063百万円及び繰延税金負債が3,550百万円それぞれ増加し、のれんは13,705百万円減少しました。なお、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響は軽微です。

また、前連結会計年度の連結財政状態計算書についても、上記取得対価の配分の完了による遡及修正を行っており、主として無形資産が17,086百万円及び繰延税金負債が336百万円それぞれ増加し、のれんは14,154百万円減少しました。

当該企業結合に係る取得関連費用として855百万円を「販売費及び一般管理費」に計上しています。

③ キャッシュ・フロー情報

(単位：百万円)

	金額
支払対価の公正価値の合計	24,933
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△1,099
子会社株式の取得による支出	23,834

④ Santenグループの業績に与える影響

前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に含まれる取得日以降にEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）及びEyevance Pharmaceuticals LLC（米国）から生じた損益は、重要性が乏しいため記載を省略していません。

なお、当該企業結合が期首に実施されたと仮定した場合の前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書に与える影響額は以下のとおりです。

（非レビュー情報）

売上収益：813百万円

四半期利益：△2,323百万円

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

当第2四半期連結累計期間に生じた企業結合はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位：百万円)

品目名 (有効成分・剤形)	薬効領域	地域	2021年3月期				2022年3月期			
			第2四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第2四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
クラビット点眼液 (レボフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	7,576	△15.8%	12,650	△16.7%	6,859	△9.5%	12,147	△4.0%
		日本	1,079	△24.6%	1,971	△23.3%	971	△10.0%	1,592	△19.3%
		中国	4,946	△16.9%	7,927	△16.6%	4,415	△10.7%	7,859	△0.9%
		アジア	1,098	28.4%	1,722	△0.2%	874	△20.4%	1,786	3.7%
		EMEA	454	△40.1%	1,029	△25.1%	599	32.1%	910	△11.6%
タリビッド点眼液 (オフロキサシン点眼液)	合成抗菌点眼剤	合計	917	17.4%	1,427	△3.1%	691	△24.6%	1,215	△14.9%
		日本	188	△18.5%	337	△18.6%	179	△4.5%	279	△17.3%
		中国	327	△9.7%	683	16.8%	406	24.1%	688	0.7%
		アジア	402	113.5%	406	△14.1%	105	△73.8%	247	△39.2%
タブコム配合点眼液 (タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	2,959	13.2%	6,036	11.7%	3,440	16.3%	6,566	8.8%
		日本	1,336	3.9%	2,604	3.3%	1,412	5.7%	2,403	△7.7%
		アジア	230	23.8%	546	42.6%	375	63.2%	763	39.8%
		EMEA	1,393	22.0%	2,886	15.4%	1,653	18.7%	3,399	17.8%
タブロス点眼液 (タフルプロスト点眼液)	緑内障治療剤	合計	9,116	1.0%	17,915	0.1%	9,186	0.8%	20,564	14.8%
		日本	4,605	△2.3%	8,709	△4.5%	4,399	△4.5%	8,738	0.3%
		中国	230	39.4%	602	52.4%	465	101.9%	2,788	362.8%
		アジア	954	△0.8%	1,907	0.8%	983	3.0%	2,105	10.4%
コソプト配合点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩/ チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	10,728	2.5%	20,877	△0.8%	10,758	0.3%	19,597	△6.1%
		日本	3,818	0.7%	6,940	△10.1%	3,018	△20.9%	5,173	△25.5%
		アジア	2,100	3.3%	4,462	10.1%	2,463	17.3%	4,778	7.1%
		EMEA	4,810	3.7%	9,475	2.2%	5,277	9.7%	9,646	1.8%
チモプトール点眼液 (チモロールマレイン酸塩点眼液) (* チモプトールXE点眼液を含む)	緑内障治療剤	合計	1,131	△11.9%	2,196	△12.3%	1,083	△4.3%	1,859	△15.3%
		日本	616	△13.3%	1,137	△15.7%	531	△13.8%	789	△30.6%
		アジア	119	1.3%	264	17.2%	150	26.1%	294	11.1%
		EMEA	396	△13.2%	794	△14.5%	402	1.4%	777	△2.2%
トルソプト点眼液 (ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障治療剤	合計	2,262	△0.7%	4,365	△1.3%	2,292	1.3%	3,862	△11.5%
		日本	670	△4.6%	1,227	△9.1%	587	△12.4%	1,009	△17.8%
		アジア	178	△21.9%	344	△16.2%	194	9.2%	308	△10.7%
		EMEA	1,415	4.9%	2,794	4.9%	1,511	6.8%	2,546	△8.9%
エイベリス点眼液 (オミデネバグ イソプロピル点眼液)	緑内障治療剤	合計	1,209	89.8%	2,536	55.7%	1,671	38.2%	3,696	45.7%
		日本	1,209	89.8%	2,516	54.4%	1,629	34.8%	3,612	43.6%
アレジオン点眼液 (エピナスチン塩酸塩点眼液) (* アレジオンLX点眼液を含む)	抗アレルギー点眼剤	合計	7,694	56.0%	32,752	31.5%	9,567	24.3%	32,368	△1.2%
		日本	7,694	56.0%	32,733	31.4%	9,506	23.5%	32,225	△1.6%
		アジア	—	—	19	—	61	—	143	663.1%
フルメトロン点眼液 (フルオロメトロン点眼液)	抗炎症点眼剤	合計	1,467	△17.8%	2,812	△6.2%	1,711	16.7%	2,961	5.3%
		日本	495	△20.7%	1,052	△17.3%	443	△10.5%	924	△12.1%
		中国	810	△2.1%	1,392	12.0%	1,101	35.9%	1,676	20.4%
		アジア	162	△51.5%	368	△23.5%	168	3.5%	361	△1.9%
ピレノキシリン懸濁性点眼液 (ピレノキシリン点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	2,055	△2.6%	3,995	△1.5%	2,138	4.1%	4,025	0.7%
		日本	1,244	△6.2%	2,391	△4.4%	1,214	△2.5%	2,354	△1.5%
		中国	397	7.2%	771	9.6%	431	8.7%	717	△7.1%
		アジア	414	0.2%	832	△2.3%	494	19.4%	954	14.6%
Oftan Catachrom (オプタンカタクロム) (チトクロームC/アデノシン/ ニコチンアミド含有点眼液)	老人性白内障治療剤	合計	1,066	△13.5%	1,830	△18.3%	882	△17.3%	1,767	△3.5%
		EMEA	1,066	△13.5%	1,830	△18.3%	882	△17.3%	1,767	△3.5%
ヒアルロン酸Na眼粘弾剤 (ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤)	眼科手術補助剤	合計	1,085	△8.3%	2,189	△18.1%	1,040	△4.1%	2,414	10.3%
		日本	1,085	△8.3%	2,189	△18.1%	1,040	△4.1%	2,414	10.3%
アイリーア硝子体内注射液 (アフリバルセプト(遺伝子組換え) 硝子体内注射液)	眼科用VEGF阻害剤 硝子体内注射液	合計	33,293	8.3%	64,454	7.2%	36,475	9.6%	65,038	0.9%
		日本	33,293	8.3%	64,454	7.2%	36,475	9.6%	65,038	0.9%
ヒアレイン点眼液 (ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	9,709	△3.6%	18,420	4.6%	8,314	△14.4%	14,932	△18.9%
		日本	3,604	△12.3%	6,967	△11.2%	3,323	△7.8%	5,893	△15.4%
		中国	4,774	△2.0%	9,259	17.9%	4,219	△11.6%	6,918	△25.3%
		アジア	1,331	22.5%	2,194	15.2%	773	△41.9%	2,121	△3.3%
ジクアス点眼液 (ジクアホソルナトリウム点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	7,108	△21.2%	14,403	△9.8%	9,186	29.2%	17,935	24.5%
		日本	6,080	△21.8%	12,283	△13.8%	6,651	9.4%	13,249	7.9%
		中国	243	200.2%	717	328.6%	1,681	591.4%	2,782	288.3%
		アジア	785	△32.4%	1,404	△9.2%	855	8.9%	1,904	35.6%
Ikervis(アイケルビス) (シクロスポリン点眼液)	角結膜疾患治療剤	合計	2,076	17.2%	4,529	17.6%	3,011	45.0%	5,553	22.6%
		アジア	417	15.9%	890	20.6%	537	28.7%	1,368	53.7%
		EMEA	1,660	17.5%	3,638	16.9%	2,475	49.1%	4,184	15.0%
Cationorm(カチオノーム)	角結膜疾患治療剤	合計	1,605	1.0%	3,062	5.2%	1,635	1.9%	3,420	11.7%
		アジア	125	3.9%	256	△3.3%	185	47.4%	337	31.7%
		EMEA	1,024	1.6%	1,969	△5.9%	1,068	4.3%	2,315	17.6%
レンティス コンフォート	白内障治療用 眼内レンズ	合計	464	△2.0%	1,196	12.3%	668	43.9%	2,058	72.0%
		日本	464	△2.0%	1,196	12.3%	668	43.9%	2,058	72.0%
PRESERFLO MicroShunt(プリザーフロ マイ クロシャント)	緑内障用デバイス	合計	356	107.9%	892	230.0%	728	104.5%	1,500	68.0%
		EMEA	356	107.9%	892	230.0%	728	104.5%	1,440	61.5%
一般用医薬品		合計	5,004	△25.4%	9,410	△21.8%	5,087	1.7%	10,000	6.3%
		日本	4,827	△26.4%	9,058	△22.7%	4,791	△0.7%	9,700	7.1%
		アジア	177	15.0%	352	12.7%	296	67.1%	300	△14.7%

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

（2）開発状況

2021年10月時点

■開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	STN1007603 / DE-076C	春季カタル	自社	米国				2021年6月		
				中国				2021年4月		
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオン性製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。カナダで、2019年11月に発売。米国で、2021年6月に販売承認を取得。中国で、2021年4月に販売承認を申請。										
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	日本				2021年8月		
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2021年8月に製造販売承認を申請。										
シロリムス	STN1010900 / DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア				2015年4月		
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										
シロリムス	STN1010905	マイボーム腺機能不全	自社	日本	(フェーズ2a)					
mTOR阻害作用によりマイボーム腺の機能を改善する懸濁点眼剤。日本で、2021年10月にフェーズ2a試験を開始。										
タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF <sub>2α</sub> 誘導体及びβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月にフェーズ3試験を開始。										
オミデネパグ イソプロピル	STN1011700 / DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と 共同開発	米国				2020年11月		
				日本				2018年11月		
				アジア				2021年2月		
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2020年11月に販売承認を申請。日本で、2018年11月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、韓国で2021年2月に発売。										
sepetaprost	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
				日本	(フェーズ2b)					
				欧州	(探索的試験)					
FP受容体及びEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2020年12月に追加のフェーズ2試験を開始。日本で、フェーズ2b試験を完了。欧州で、2021年9月にフェーズ2試験（探索的試験）を開始。										
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、 南洋理工大学	日本	(フェーズ2/3)					
				中国						
				アジア						
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月にフェーズ2/3試験を開始。中国で、2021年9月にフェーズ1試験を開始。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										

—	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
緑内障用デバイス	STN2000100* / DE-128	緑内障	自社	日本				2021年5月		
				欧州						2019年4月
				アジア						2021年9月

原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。日本で、2021年5月に販売承認を申請。欧州にて2019年4月に発売。アジアでは、2020年3月以降順次販売承認を申請しており、2021年9月にシンガポールで承認を取得。韓国で、2021年4月に非承認通知を受理、再申請を検討中。

\*2021年5月に、米州、オーストラリア及びニュージーランドについてGlaukos社へ導出。米国では、2020年6月に市販前承認（PMA）の段階的申請を完了、2021年2月末にFDAから審査に関するフィードバックを受け、以降協議を実施中。カナダで2021年3月に、オーストラリアで2021年5月に販売承認を取得しており、Glaukos社にて上市準備中。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
				アジア						

プロスタグランジンF<sub>2</sub>α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州及びアジアで、2019年4月にフェーズ3試験を開始。

化合物名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
AFDX0250BS	STN1013400	近視	ベーリンガー インゲルハイム	日本						

小児における近視の進行を抑制する選択的ムスカリンM2受容体拮抗薬。特定のサブタイプを選択的に阻害するため、散瞳が抑えられる。日本で、2021年7月にフェーズ1試験を開始。

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
netarsudil dimesylate	STN1013900 /AR-13324	緑内障・高眼圧症	Aerie社	日本						

ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤。米国では、Aerie社が開発し販売中。日本で、2020年11月にフェーズ3試験を開始。

■2021年度第1四半期決算発表時（2021年8月6日）からの変更点

開発コード	変更点
STN1008903 / DE-089C	日本で、2021年8月に製造販売承認を申請。
STN1010905	日本で、2021年10月にフェーズ2a試験を開始。
STN1012600 / DE-126	欧州で、2021年9月にフェーズ2試験（探索的試験）を開始。
STN1012700 / DE-127	中国で、2021年9月にフェーズ1試験を開始。
STN2000100 / DE-128	シンガポールで、2021年9月に承認を取得。

（3）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
設 備 投 資 額	3,942	11,281	13,737	30,000

（注） 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総 額	2,106	4,404	2,222	4,820
製 造 経 費	1,081	2,267	1,141	2,170
販 売 管 理 費	719	1,533	792	1,970
研 究 開 発 費	306	604	289	680

（注） 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費および使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績 <sup>*1</sup>	第2四半期 累計実績	通期見込
総 額	4,878	10,650	4,787	8,900
メ ル ク 無 形 資 産 償 却 費	2,904	5,808	2,870	5,740
STN2000100（DE-128） <sup>*2</sup> 無形資産償却費	1,372	2,725	467	890
Ikervis（アイケルビス）無形資産償却費	344	701	371	710
そ の 他	258	1,417	1,078	1,560

\*1 当第2四半期連結会計期間において、企業結合による取得対価の配分が完了し、2021年3月期の通期実績を遡及修正しています。

\*2 PRESERFLO MicroShunt（プリザーフロ マイクロシャント）

■研究開発費

（単位：百万円）

	2021年3月期		2022年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
研 究 開 発 費	11,123	24,112	12,338	26,000
対 売 上 収 益 比	9.4%	9.7%	9.6%	10.0%

（4）主要通貨為替レート

（単位：円）

通貨	2021年3月期 第2四半期	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	2022年3月期 (予想)
USドル	106.72	105.95	110.09	105.00
ユーロ	121.54	123.73	131.14	125.00
中国元	15.21	15.61	17.05	16.50

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。